

令和元年度 下長こども園（幼保連携型認定こども園） 事業報告 I

認定こども園の運営

教育・保育目標の『心も身体もたくましい子・感性ゆたかな子・思いやりのある子』に基づいて効果的な施設運営に努めた。

1 教育・保育

基本的には『情緒の安定』を図ることによりのびのびとした子どもらしい子どもに育つよう、また、それぞれの年齢や発達課題に応じたきめ細かい教育・保育に取り組み、心身ともに健やかに成長するよう努めた。年長児については卒園後小学校生活に順調に適応していけるよう学校見学等も実施した。

また、延長保育事業や一時預かり事業等保護者の各種保育ニーズ及び、「発達」や「言葉の理解・表出」に対しての相談事業や子育て相談等にも対応してきた。

2 給食

近年、「食育推進」が盛んに謳われているが、当園では季節に合った新鮮な食材を使用し、子どもたちに手作りの給食のおいしさと楽しさを味わってもらおうよう努めている。給食は身体を发育させるとともに五感を刺激すること、また、生産、流通、販売に携わるたくさんの方々や両親、給食の職員に感謝すること等により躰や心の成長にも大きな役割を果たすので、目、鼻、舌と心を満足させるおいしくて楽しい給食と、食中毒の防止等衛生管理にも十分配慮した安心・安全な給食の提供に心掛けている。

給食時には栄養士が毎日その日の献立の栄養素の説明をしている。また当園の第二の園庭「どんどんひろば」の畑で出来た作物を使用した「手作りおやつ」を提供したり、保護者には参観日等の場で食育の説明及び試食会も行っている。

3 専門性の向上

(1) 職員研修

職員の資質向上と教育・保育内容の向上を図るため、さらには多様なニーズに柔軟に対応出来るようになるため、各職員の希望と研修計画に基づいて各種研修に積極的に参加させるよう努めた。近年では子どもの身体や言葉における「発達障害」及び「療育方法」等についての保護者からの相談が多いこと及び専門機関が少ないところから発達障害に対する支援の必要性を強く感じている。

4 職員処遇

(1) 就労環境の整備

園行事の見直しや就労意識の改善等により、時間外労働の短縮・削減、定時退勤の励行、有給休暇の取得率向上に努めた。保育意欲の向上のためにもワーク・ライフ balan

スに配慮する等就労環境の整備を図り、今後ともなお一層魅力ある職場となるよう努力したい。

5 社会貢献

(1) 地域貢献

地域におけるこども園の果たすべき役割に「地域貢献」が挙げられるが、近年、特に核家族化による子育て世帯の孤立、コミュニケーションの減少も加速度的に進む中、その重要性がより高まってきていると感じる。当園では以下においてその役割を果たそうと努めた。

① 「シニア交流会」

地域のお年寄りを招いての「シニア交流会」は毎年の恒例行事として実施しているが、お年寄りから開催を催促される等大変好評である。「一人暮らし老人」の見守り活動やお年寄りの生きがいくくりにも貢献することが出来有意義だった。また、日頃お年寄りとの交流の機会の少ない園児たちには新鮮な出会いだったようでとても楽しんでいた。元年度はけん玉、あやとり、お手玉といった伝承遊びを取り入れ、一緒の時間を過ごした。

② 「小学生との交流」

当園の夏祭りや運動会、お遊戯会といった各行事には卒園児のみならず地域の小学生が大勢参加する等、目標とする地域の子育てセンターとしての役割を果たすことができたと考えている。小学生との交流は両親共働き世帯の児童の健全育成対策としての意味合いもあり、特に夏休み等長期休暇を中心に実施して行きたい。

元年度の実績として、各行事への招待の他、「下長仲良しクラブ」(学童保育)の利用生徒を対象に流しそうめん大会に招待したり、同クラブ利用の3年生を対象に陶芸教室を開催したりと年々その交流の機会を多く設けてきている。

③ 「ふわふわたいむ」

地域の未就園の0・1才児の親子を対象にこども園を開放し、○親子のふれあい、○お母さんのゆったりタイム、○子どもの遊びや子育ての悩みについてアドバイスすること等を目的に昨年度に引き続き実施した。

元年度は6/13、8/6、10/8、11/14、1/30と5回開催した。参加した保護者からは大変好評だったので今後も引き続き実施したいと考えている。

④ 「わくわくキッズ」

下長公民館で行われている未就園の母子を対象とする「子育てサークル“わくわくキッズ”」に地区社協と連携し当園保育士2～3名を6月と12月の2回にわたって派遣し、絵本の読み聞かせや手遊び・歌遊びの方法等を伝えるとともに、子育ての悩みや保護者のストレス解消に応えた。

(2) 施設慰問

依頼に基づきデイサービスセンター「石堂さくら通り」の慰問を行った。利用者のお年寄りや施設職員の方々をはじめ、園児の保護者や地域の人々に大いに喜んでいただい

たので、今後ともできるだけ参加していきたい。

(3) 他機関及び地域住民との連携

発達に遅れのある、もしくはいわゆるグレーゾーンといわれる幼児の療育方法等に対して、当園の嘱託医でもある有吉医師（はまなす医療療育センター、言葉の相談室担当医）に随時相談をしている。また、そのようなお子さんの入所や在籍も毎年複数名を数えている。このことは発達に関する当園の教育・保育内容、職員の資質、教育・保育に対する姿勢が一定の評価を受けているものと考えている。また現に元年度は当園と他の療育専門機関とを併行利用している児童も複数名を数えており、同時に今後もこのようなケースはますます増えると予想されることから、医師、専門機関スタッフとの協議や研修機会の確保及び保護者とのさらなる連携が必要と考えている。

また、八戸市総合教育センター内の「こども支援センター」が就学前児童についても相談に応じているため、今後も引き続き連携促進を図りたい。

地域住民との連携としては、食育に関連する行事（田植え、苗植えといった田畑の管理や園庭のミニトマト、キュウリ、ゴーヤといったプランターの管理等）、前項「ふわふわタイム」、「シニア交流会」へ当法人の理事、監事、評議員を中心に数多くの方々からの協力が得られている。世代間交流の大切さは常日頃から感じており、今後も積極的に企画し、協力を要請しようと考えている。

(4) 災害時の避難場所

当園は地震による津波等災害発生時の緊急避難場所として有効であると考えている。当園所在地域は市及び県のハザードマップによれば最大津波による最大浸水時で最大2mの浸水が想定されている。また今年度、降雨による馬淵川氾濫を想定した洪水発生時におけるハザードマップが改定された。それによると、100年に一度クラスの洪水では当地域の浸水予想は0.5m未満で地域の避難場所（施設）「下長小学校」の1階以上に避難、1000年に一度クラスでは3.0～5.0m未満で同じく「下長小学校」の3階以上に避難とされている。地震による津波等災害発生時（あくまで園舎に倒壊の危険がないと判断した場合）、また100年に一度クラスの洪水においては、下長こども園は従来から災害用備蓄用品（水、米、乾パン、紙おむつ、簡易トイレ、小型ガス発電機等）を常備していること、及び乳幼児の迅速な避難行動は相当に困難であることから、当園2階への避難を考えている。また遊戯室を利用することにより少人数であれば緊急時の避難場所としても有効（町内会とも地域住民の受け入れについて協定している。）である。1000年に一度クラスの洪水の場合、困難を承知の上「下長小学校」の3階への避難が必要となってくるため、今後とも下長小学校への避難訓練、学校側との協議及び連携を図っていく必要がある。

6 課題

今後の課題としては、①卒園児の学校教育へのスムーズな移行を図るため小学校との連携をさらに深めていきたいと考えている。また、②災害時の避難及び不審者対策が課題としてあげられる。避難訓練、不審者対策訓練は毎月実施しているものの、自立歩行の難しい乳児を始め、乳幼児の避難は困難を伴うことが多く、より効果的な対策を工夫しなければ

ばならない。今後さらに訓練を重ねるとともに、警察、消防、地域等との連携をなお一層強化していきたい。

これからも当園の持つ機能の有効活用により地域になくてはならない施設として役割を果たしていきたい。

平成31年度 下長こども園 事業報告

1 行 事

H31年

4月 6日 入園・進級説明会（保育開始4月1日）
保護者総会

10月 1日 小遠足・りんご・ぶどう狩り

10月 2日 さつま芋掘り・稲刈り

10月 3日 シルエット劇場鑑賞（年長）

R元年

5月 7日 よもぎ摘み

10月 5日 未満児参観

5月17日 種まき（ラディッシュ・枝豆・インゲン）

10月25・26日 陶芸展

5月18日 親子バス遠足（以上児）

10月29日 施設監査

5月21日 よもぎホットケーキ作り

10月30日 焼き芋会

5月22日 田植え

11月 7日 お宮参り

6月 4日 苗・種植え（かぼちゃ・さつま芋）

11月 8日 国土交通省除雪出動式(年長)

6月 8日 わくわくタイム参観日

11月 9日 三沢基地ツアー（年長）

親子焼き物教室（年長）

13日 おにぎり作り

給食試食会

12月14日 お遊戯会

6月15日 保護者焼き物教室

12月26日 餅つき会

6月19日 ラディッシュ収穫

R2年

6月25日 シニアなかよし交流会（年長）

1月18日 凧上げ会

7月16日 下長小学校校外見学（年長）

1月25日 以上児参観

7月20日 夏祭り

1月28日 下長小学校給食交流会（年長）

7月25日 小学生3年生対象焼き物教室

2月 3日 豆まき会

8月 9日 流しそうめん会（年少・年中）

2月 8日 絵画造形研修

流しそうめん会（小学生1,2,3年生招待）

2月19日 えんぶり鑑賞会

8月10日 流しそうめん会（年長親子）

3月10日 お別れ会

9月 3日 枝豆収穫

3月14日 卒園式

9月13日 石堂さくら通り慰問

9月14日 運動会

- ※ 社会貢献活動として①未就園児子育て支援（下長公民館わくわくキッズ）参加 6月と12月実施
- ②子育て支援ふわふわたいむ 6月13日、8月6日、10月8日、11月14日、1月30日 5回実施
- ※ 誕生会・体操教室（年中・年長）・英語で遊ぼう（年長）は毎月実施
- ※ わくわくタイム（年長）年間30回実施
- ※ お茶会（年長）2月13日、2月20日、2月27日 3回実施

2 避難訓練

毎月1回実施（総合訓練 6月14日・11月22日）

3 園児健康診断

内 科 5月28日・11月15日

歯 科 5月24日・1月29日

4 園児（平成 31年 4月1日現在）

0歳児 6人、 1歳児 14人、 2歳児 13人、 3歳児 20人
4歳児 21人、 5歳児 22人 計 96人（うち広域入所 0人）

5 職員（平成 31年 4月1日現在）

理事長 1人、園長 1人、副園長 1人、主幹保育教諭 1人、副主幹保育教諭 1人、
保育教諭 12人、パート保育教諭 4人、看護師（保健師）1人、調理員（管理栄養士）1人、
調理員（調理師）兼用務員 1人、パート調理員 1名、事務員 1人、保育補助員 1名
計27人

6 保育対策促進事業

延長保育促進事業、一時預かり事業を実施